

スポーツメディカルセンター

熊本初のスポーツメディカルセンターを開設し、多角的な視点からスポーツ外来に取り組む同院。そのセンターを統括し、日本体育協会公認スポーツドクターで熊本ウォルターズチームドクターなども兼任する鬼木先生に話を伺った。



プロバスケットチームの熊本ヴォルターズの小林選手を治療する鬼木先生

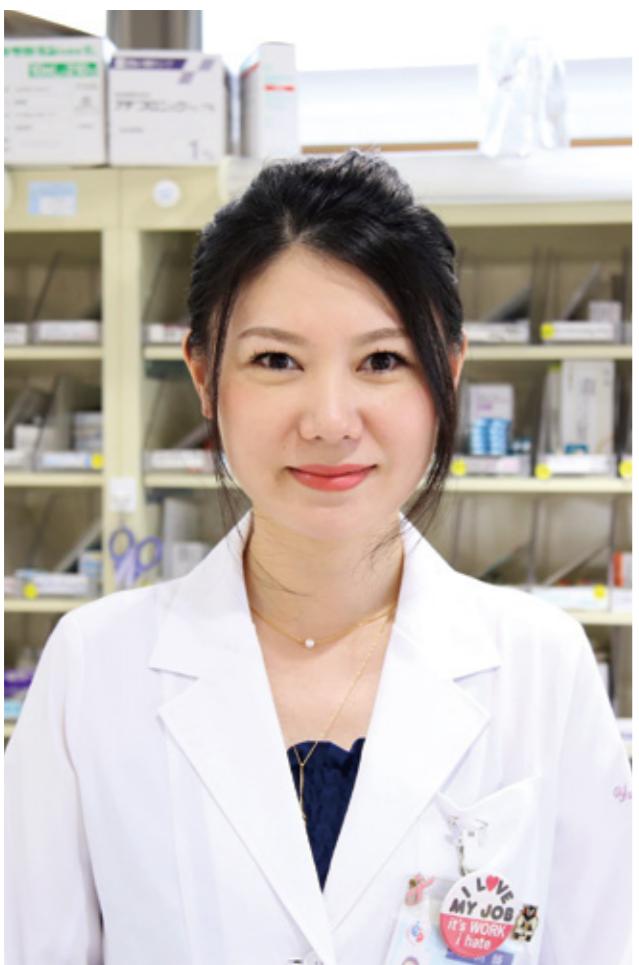
復帰を前提に多角的治療
予防・能力向上も視野に

復帰を前提に多角的治療
予防・能力向上も視野に
平成27年に新病棟と同時に
熊本初のスポーツメディカル
センターを開設した「熊本回
生会病院」。以来、スポーツ外
来には小・中・高生の部活生か
らプロのアスリート、シニア
のスポーツ愛好者まで幅広い
年齢層が診療を求めてくる。
「当院のスポーツ外来では、
ケガの手術・治療はもちろん
ですが、ケガを繰り返さない
ための予防、さらにパフォー
マンスの向上までを視野に入
れた治療を行います。種目や
年齢などその個人に合わせた
事の指導などトータルでサ
ポートしていきます」。スポー
ツ外来の治療にあたっては元
のスポーツに復帰することが
前提にあって、そのためには予
防と能力の向上は必要不可欠

だと鬼木先生は語る。さらにメンタル面も重要視して、ケガをすると精神的に落ち込む場合が多く、心理的協議脳力診断(ディップカ)などを採用しながら、データに基づいた心理的サポートも行いリハビリを進める。また鬼木先生の下にはプロアスリートや競技選手たちが通うことも多く、薬の処方にも注意を払う。スポーツファーマシストを在中させ、ドーピングのチエックやサブリメントなどの指導管理も徹底させている。口の中のケガや歯の保護に関するマウスガードの必要性を唱え、同院ではマウスガードの作製にも着手。靴に(中敷き)を作製。まさしく、脚関しても、医師の処方のもと義肢装具士が個人の足を採寸して足型を作り、インソール(中敷き)を作製。まさしく、脚の先から頭のてっぺんまで、スポーツ医学に基づいた全身のサポートを実践する。



**鬼木 泰成先生
診療部長**



院外薬局（ひばり薬局）のスポーツファーマシスト中尾薬剤師



膝前十字靭帯再建術や人工関節置換術等 整形外科疾患全般に対応可能



治療と予防の両面から、また競技能力の向上も視野に入れたアプローチでリハビリを行う

ケガで諦めないために
専門性の高い真の医療を

ケガで諦めないために専門性の高い眞の医療を
スポーツメディカルセンター開設以来、スポーツ外来の患者数は増え続け、平成25年度の650人に対し、平成28年度は約5倍の3230人。ケガで悩む多くのアスリートたちにとつて、専門性の高い鬼木先生の眞の医療が救いの手となつているのは明らかだ。当然手術研究しているんです。

備えている。

「優秀なスタッフの存在も大いに力です。例えば種目別の専任のリハビリスタッフがいて、担当種目を徹底的に研究して、回復から再発防止、競技の能力向上へと導いていきます。彼らは、国体選手や学生競技者のトレーナーとしても活動していく、実践とともに共有しながらより有効なトレーニング法を研究しているんです」。

ここまで徹底したスポーツ外に取り組む鬼木先生の根幹には、ケガでスポーツを断念する

行っている。近年では自分の血液を使った再生医療の一つ、自己多血小板血漿注入療法（PRP療法：自由診療）も開始。右肘部分断裂を負った日本人のメジャーリーガー投手の治療に用いられて日本でも話題になつた最先端の治療法だ。

リハビリのトレーニングマシーンの充実も目を見張る。例えば自分の体重の最大20%まで免荷して、まるで浮いたような感覚で走行できる

「AlterG®」を導入。術後早くから走行の訓練に入れるため、早期回復へと繋がつてゐる。また筋肉の回復具合を数値化できる装置「サイベクスノルム」も導入。県内でも多くの啓蒙活動を行つてゐる。

人が一人でも減つて欲しいという思いがある。子ども達がケガとは無縁に、夢に向かって突き進んで欲しいというエールが込められているのだ。「もし、何度もケガを繰り返す、あるいは痛みの原因がわからない、結果が出せずに伸び悩んでいるなど、どんな悩みでも大丈夫です。一度相談に来てください。これまでと違ったアプローチで、一緒に改善していきましょう」。

多忙な毎日を送る鬼木先生だが、県や市の教育委員会や養護教諭の勉強会などへの講演も行つてゐる。子ども達の健全なスポーツ環境を整えるために、スポーツ医学の啓蒙活動を積極的に行つ



医療法人 回生会 リハビリテーションセンター 熊本回生会病院

- TEL./096-237-1133
 - 所在地/上益城郡嘉島町鯉1880
 - URL/<http://www.reha-kaiseikai.or.jp/>
 - 理事長/鬼木泰博 ●院長/大橋浩太郎

リハビリテーション科、スポーツ
外来、整形外科、内科、他

- 病床／161床(一般60床、回復期101床)
 - 関連施設／スポーツメディカルセンター、メディフィット回生会、居宅介護支援センター、訪問看護ステーション、にじいろ保育園

診療時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00~17:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○ △ ×
※土曜日は~12:30※初診の外来受付は8:30~11:00,13:00~16:00※スポーツ外来の診療予約は9:00~11:00(完全予約制)